

大井九条の会

大井九条の会
事務局連絡先
83-2358 二上

10月4日の定例会では

学習では、治安維持法制定一〇〇年ということもあり、毎日新聞の記事とテレビ東京の報道特集のビデオを参考に学習、議論しました。

日々の生活をありのままに描く教育が共産主義を啓蒙しているとして検挙された犠牲者、菱谷良一さん（103歳）の話には一同、びっくり。取り調べでは、拷問と合わせ、無理やり共産主義の本を学習させられ、でっち上げの自白調書を書かせられて、有罪とされ、一年三か月の獄中生活を送った。

当時、特高警察では、治安維持法で検挙すると約60円（現在の約30万円）の褒賞金がでたという。

毎年、国家の賠償等を要求しているが国は無視。理由はその当時適法に制定されているので賠償、謝罪、調査の必要はないとのこれもびっくりする理由だ。昔の悪法

戦争を自分事として考える

ウクライナ、ガザの戦争終結が見えない。ガザ地区では飢餓状態が作り出され無抵抗な子ども達まで、また救援しようとしている人達まで次々に殺されている。今平和な日本にいる私に何ができるだろうかとずっと考え続けてきた。大井九条の会の月一回の街宣でチラシを配りマイクで「平和を」と訴え続けてきた。

戦後80年、平和が保たれてきた日本。しかし、日本の平和の危うさを感じさせられるようにもなってきた。この昨今である。大井九条の会は、日本の戦争の時代を振り返る試みを11年間続けてきた。身近な人に戦時体験を話してもらい、戦時体験集を作ってきた。年2回、平和の集いを開催し、問題提起を行い、平和を願う人達の交流の場を作ってきた。毎月、沢山の人の思いや考えを載せた会報を発行して、多くの人達にそれを配

日本国憲法 第二章 戦争の放棄
第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
第二項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

による犠牲者の訴えて憲法のもとの違法性が認められ賠償等の実態があるにも拘らず。

これらの事実の上で、今、治安維持法の現代版とも言われるスパイ防止法について論議が深まりました。12月6日に予定される、次回の行事について、ジャーナリスト布施さんの母親大会での講演「戦後80年と不戦の決意」を検討しました。

次回定例会11月2日(日) 14時
河原自治会館

付したりホームページに載せたりして広く交流する場を作ってきた。私は、自分一人では決してできないこの多彩な活動の一翼としてできる事はやろうとして、戦時体験聞き書き、平和の集いのチラシ配付や誘いの手紙書き、会報配付を行ってきた。訴えたほとんどの人が皆、平和を望んでいて、九条の会の活動に好意的だという確信を得てきた。私はこの活動の中で日常的に長く付き合える友人もたくさんできた。



ところで、こんなに多くの人たちが平和を望んでいるにも関わらず、なぜ世界は、戦争を止められないのだろうか？なぜ日本は、戦後80年の、多くの人達の非戦の努力にも関わらず、危うい時代となってきたのだろうか？危惧が沸き起こってくる。

その危惧は、私を、親の世代の時代へと誘う。親の時代も多くの人たちには、平和で平凡、善意的な日常を望んでいたにも関わらず、巻き込まれていったのではないのだろうか？

私も自分がその時代の人間だったら、戦争を推進したり協力的だったり巻き込まれたり、殺したり殺されたりする事になっていたかもしれない。でも、私は、日本の長かった戦争が終わり戦後民主主義が高揚した時代に生まれ、戦争を生き延びた働き者の子煩悩な両親に愛情をもって育てられ、憲法、平和の思想を根付かせようとしていた人達の教育を受けて育った。女性も経済的に自立できる環境で年を重ねる事ができた。これは偶然な事であり奇跡的な事だと思ふ。そしてこれは、生んでくれて育ててくれた両親をはじめとした多くの人達の願いがあり意志があったからこそその事だと思ふ。

だから、その事に感謝し、戦争を、危惧を覚えて立ち竦んでしまうのではなく、また、我が身には降りかからないだろうと傍観するのではなく、自分事として考え続けていきたいと思ふ。「平和」を発信し行動し続けてきている多くの人達の思い、考え、意志を受け取り、共鳴し、考え続けて、出来るところでは行動を共にしていきたいと思ふ。志半ばにして倒れた人達の願い、意志を引き継いでいきたい。前回私が書いた原稿の中のガザ詩人の詩は私を励まし続けている。

If I must die,
you must live
to tell my story
(途中、略)
If I must die
let it bring hope
let it be a tale

二上光子

